

## 令和5年度 『琴畑水源の森プロジェクト』

令和5年5月24日（水）遠野エコネットと協力して行っている「令和5年度 琴畑水源の森プロジェクト」  
として、土淵小学校の4年生13名と、遠野市土淵町柵内の国有林において、ミズナラの苗木を植えました。



事前学習の様子

5月9日（火）の事前学習では、岩手県の森林の特徴や森林の主なはたらきについて勉強しました。森林の循環利用とSDGsの関係について触れると、子供たちから「それ知ってる!」「Sustainable Development Goalsでしょ!」と言った声が続々とあがり、関心を持っている子供が多いことに驚かされました。

植樹当日は、薄曇りで肌寒いくらいでしたが、子供たちはものともせず元気です。2～3人の班に分かれて、3本ずつ約20本のミズナラの苗木を植えるのですが、筐の根が深く張っており、唐鍬やスコップで一息懸命掘ってもなかなか穴が深くなり、「すぐ終わると思ったけど結構疲れた」「（事前学習で）思ったより大変だった」と子供たちも植樹の難しさを実感しているようでした。

苗木を植えた後は、シカなどの動物に食べられないようにシカ食害防止チューブを設置しました。チューブの成形が難しいので班内で協力しながら付けました。夏に、苗木の成長具合の観察を予定しているので、自分の植えた苗木がわかるように、チューブに植樹をした年月日と自分たちの名前を書きました。その後は、競うようにバケツに水を汲んで苗木にかけていました。

感想発表では、「ミズナラが大きく成長するように願いたい」「楽しかった。またやりたい」「森に木を植えるやり方をしっかり覚えられた」との意見をもらいました。子供たちは、映像越しではない生の実感をもって『山に木を植えるとはどういうことか』を経験することが出来たようです。この経験から、SDGsについても理解の度合いが深まったのであれば幸いです。

私も子供たちの素直な感想を聞いて、森林作りの大変さ・重要性を振り返ることが出来ました。今後は気持ちを新たに、森林作りに関わっていきたいと思います。

岩手南部森林管理署遠野支署 梶本 愛



穴掘りは難しい



苗木にチューブをかけよう



植えた記念に  
名前を書こう



元気に育つてね